平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　宮地エンジニアリンググループ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3431　URL　http://www.miyaji-eng.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩倉　健雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 越後屋　秀博　TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,138	△33.0	556	△61.7	576	△60.3	556	△58.8
23年3月期第2四半期	13,642	△23.7	1,453	34.5	1,451	41.0	1,349	47.4

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　387百万円　(△63.8%)　23年3月期第2四半期　1,070百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.17	―
23年3月期第2四半期	19.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	26,686	11,209	42.0
23年3月期	33,370	10,839	32.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　11,209百万円　23年3月期　10,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△25.3	400	△85.0	300	△88.5	300	449.9	4.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	69,194,543 株	23年3月期	69,194,543 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,100,664 株	23年3月期	1,099,510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	68,094,713 株	23年3月期2Q	68,096,743 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 9
生産、受注及び販売の状況(連結) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響などにより依然として厳しい状況のなか、生産、輸出、個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られますが、為替レート・株価の変動、デフレの影響などが懸念され、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である橋梁につきましては、当第２四半期連結累計期間は引き続き量、価格面とも厳しく、激しい受注競争が続きました。

このような環境下、当社グループは、合併新会社の宮地エンジニアリング株式会社が有する製作・架設力などの総合エンジニアリング力を最大限活かし、合併シナジーを早期に発揮し、道路橋などの公共事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業、合成床版などのＦＲＰ事業、保全・補修事業および海外事業に引き続き注力し、受注、売上、利益の安定確保の施策を推進しております。

当第２四半期連結累計期間の受注高につきましては、引き続き橋梁の総発注量ならびに価格が低水準で推移し、民間工事も低迷するなか、積極的に営業活動を展開したものの、受注競争が大変厳しかったことから、76億20百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事量が減少したことなどから、91億38百万円（同33.0%減）となりました。

損益につきましては、生産の効率化ならびに原価削減に取り組んだ結果、当初予想に比べ改善しましたが売上高の減少の影響もあり、営業利益は５億56百万円（同61.7%減）、経常利益は５億76百万円（同60.3%減）、四半期純利益は５億56百万円（同58.8%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して66億83百万円減少し、266億86百万円となりました。主な要因は、工事代金の回収が順調に進んだことにより、受取手形・完成工事未収入金が40億９百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して70億53百万円減少し、154億76百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金が26億80百万円および短期借入金が30億20百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して３億70百万円増加し、112億９百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が１億69百万円減少しましたが、利益剰余金が５億39百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して25億37百万円減少し、36億61百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、４億95百万円の資金増加（前年同期比86.8%減）となりました。主な要因は、売上債権の減少40億９百万円および仕入債務の減少26億80百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、４百万円の資金増加（同98.6%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億34百万円の資金減少（同5.0%増）となりました。主な要因は、短期借入金の減少30億20百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期累計期間の売上高は、ほぼ平成23年５月18日に公表いたしました当初予想のとおりとなりましたが、損益の面では、原価削減などにより営業利益、経常利益、四半期純利益とも予想を上回りました。

しかしながら、通期の業績予想につきましては、橋梁事業・建設事業とも取り巻く事業環境が厳しく、先行き不透明であるため、現時点では当初予想を据え置くことにいたします。

グループが保有する実績・技術力・架設力を活かし、総合評価落札方式への対応を図りつつ、技術提案力と積算精度を向上させ、総力を挙げて受注の確保に努めるとともに、合成床版などのＦＲＰ事業、保全・補修事業および海外事業にも引き続き注力し、積極的に工事の採算性の更なる向上を図ってまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,254,434	3,719,698
受取手形・完成工事未収入金	11,939,050	7,929,523
未成工事支出金	339,717	465,836
その他	611,622	745,348
貸倒引当金	△6,950	△6,850
流動資産合計	19,137,875	12,853,557
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,374,729	8,374,729
その他（純額）	2,749,983	2,627,791
有形固定資産合計	11,124,712	11,002,521
無形固定資産	170,874	188,844
投資その他の資産		
投資有価証券	2,625,200	2,363,486
その他	414,411	349,254
貸倒引当金	△102,890	△70,890
投資その他の資産合計	2,936,721	2,641,851
固定資産合計	14,232,309	13,833,217
資産合計	33,370,184	26,686,774
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	6,311,894	3,631,879
短期借入金	8,760,000	5,739,160
未払法人税等	60,249	33,785
未成工事受入金	770,811	642,511
工事損失引当金	944,200	856,700
その他の引当金	327,910	280,823
その他	1,177,778	213,249
流動負債合計	18,352,842	11,398,109
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,504,337	2,504,337
退職給付引当金	1,486,621	1,480,173
その他の引当金	49,037	39,012
その他	137,870	55,240
固定負債合計	4,177,866	4,078,764
負債合計	22,530,709	15,476,873

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,234	3,746,234
利益剰余金	1,020,762	1,560,732
自己株式	△222,739	△222,846
株主資本合計	7,544,257	8,084,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,621	△13,816
土地再評価差額金	3,139,596	3,139,596
その他の包括利益累計額合計	3,295,217	3,125,779
純資産合計	10,839,475	11,209,901
負債純資産合計	33,370,184	26,686,774

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
完成工事高	13,642,117	9,138,295
完成工事原価	11,321,892	7,834,919
完成工事総利益	2,320,225	1,303,375
販売費及び一般管理費	866,550	746,500
営業利益	1,453,674	556,875
営業外収益		
受取利息	2,109	1,178
受取配当金	33,388	58,557
スクラップ売却益	15,872	25,332
貸倒引当金戻入額	－	32,000
その他	33,444	17,451
営業外収益合計	84,815	134,519
営業外費用		
支払利息	65,018	59,028
シンジケートローン手数料	17,500	－
異常操業損失	－	43,009
その他	4,066	12,999
営業外費用合計	86,585	115,037
経常利益	1,451,904	576,357
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,306	－
完成工事補償引当金戻入額	2,000	－
固定資産売却益	1,392	4,541
投資有価証券売却益	131,006	－
受取保険金	－	45,015
その他	10,463	－
特別利益合計	154,167	49,556
特別損失		
災害による損失	－	46,988
事業構造改善費用	52,121	－
生産調整損失	50,711	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,086	－
その他	19,036	5,200
特別損失合計	178,957	52,188
税金等調整前四半期純利益	1,427,114	573,724
法人税、住民税及び事業税	247,052	20,366
法人税等調整額	△169,567	△3,279
法人税等合計	77,484	17,086
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349,629	556,637
四半期純利益	1,349,629	556,637

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349,629	556,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279,455	△169,438
その他の包括利益合計	△279,455	△169,438
四半期包括利益	1,070,174	387,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,070,174	387,199

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,427,114	573,724
減価償却費	189,586	157,810
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,319	△32,100
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△38,800	△87,500
受取利息及び受取配当金	△35,498	△59,736
支払利息	65,018	59,028
為替差損益（△は益）	－	2,243
持分法による投資損益（△は益）	△238	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△131,006	－
売上債権の増減額（△は増加）	4,514,231	4,009,527
未成工事支出金等の増減額（△は増加）	519,243	△130,850
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,526,433	△2,680,014
未成工事受入金の増減額（△は減少）	296,917	△128,299
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,086	－
その他	△434,725	△833,806
小計	3,893,178	850,026
利息及び配当金の受取額	35,498	59,736
利息の支払額	△63,261	△61,434
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△117,872	28,106
特別退職金の支払額	－	△381,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,747,542	495,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,332	△29,873
投資有価証券の売却による収入	265,000	－
貸付けによる支出	△4,430	－
貸付金の回収による収入	83,354	609
敷金及び保証金の差入による支出	△2,153	△1,283
その他	12,606	34,825
投資活動によるキャッシュ・フロー	297,044	4,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,630,000	△3,020,840
長期借入金の返済による支出	△258,000	－
配当金の支払額	△40	△4
その他	△3,223	△14,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,891,263	△3,034,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△2,243
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,153,324	△2,537,760
現金及び現金同等物の期首残高	3,663,480	6,199,716
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△223,917	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,592,887	3,661,955

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		前連結会計年度（自 平成22年４月１日 至 平成23年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	11,909,120	91.1	8,422,614	93.3	23,309,547	94.0
建築他	1,170,425	8.9	603,682	6.7	1,498,920	6.0
合計	13,079,545	100.0	9,026,297	100.0	24,808,467	100.0

② 受注の状況

（受注高）

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		前連結会計年度（自 平成22年４月１日 至 平成23年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	6,936,975	90.3	7,045,333	92.5	16,805,624	92.0
建築他	745,437	9.7	574,910	7.5	1,470,835	8.0
合計	7,682,413	100.0	7,620,243	100.0	18,276,460	100.0

（受注残高）

製品別	前第２四半期連結会計期間末（平成22年９月30日）		当第２四半期連結会計期間末（平成23年９月30日）		前連結会計年度末（平成23年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	19,013,838	96.7	13,525,768	94.9	15,024,044	95.2
建築他	645,874	3.3	734,186	5.1	753,962	4.8
合計	19,659,712	100.0	14,259,955	100.0	15,778,006	100.0

③ 販売の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		前連結会計年度（自 平成22年４月１日 至 平成23年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	12,489,059	91.5	8,543,609	93.5	26,347,503	93.7
建築他	1,153,057	8.5	594,686	6.5	1,770,367	6.3
合計	13,642,117	100.0	9,138,295	100.0	28,117,871	100.0

※ 橋梁とは、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、プレストレストコンクリート橋梁、ＦＲＰ構造物、その他土木事業であります。
建築他とは、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、その他鋼構造物の製作・現場施工、既設構造物の耐震・免震工事、その他の事業であります。